

いよいよ3月となり、早くも中旬に差し掛かろうとしています。4日に公立高校の一次選抜がありました。卒業式まであと3日、修了式まで15日となりました。卒業式と修了式に向けて、仲間と一緒に過ごす時間をより一層大切にしていきたいですね。そして、新たなステージに向けて着々と準備を進めていきましょう!!

◇ 3月11日を迎えます

2011年3月11日14時46分ごろ、東日本大震災が発生しました。地震の揺れそのものによる被害だけではなく、地震による大津波が被害の規模をとてつもなく大きくしました。震災発生から15年が経とうとしていますが、いまだに行方不明の方もおられる状況です。

地震や津波だけではなく、大雨や大雪による被害、土砂災害などが毎年のように発生してしまい、ひとつの被災の記憶が薄れないうちに、また新たな被災を経験してしまう日本。痛みの上書きはたとえようのないつらさです。

直接的にできる支援について考えることは重要です。そして、直接的ではないですが、私たちにできることのひとつとして「今をしっかりと生きること」があります。さらに、いつもお話していますが、大切なことは「忘れないこと」と「伝えること」です。記憶は語り継がれなければなりません。起こった出来事そのもの、鎮魂、命の尊さと重み、痛みと悲しみ、教訓、防災など、さまざまなことに対して思いを馳せ、語り合い、次の世代へと語り継ぎたいと考えます。

家族や先生、仲間たちと是非語り合う時間をつくってください。そして、ひとりひとりが命について、生きることについて、真剣に向き合い考えたいです。

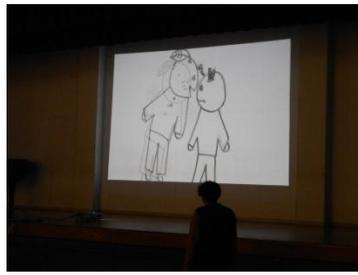
◇ 美術の出前授業がありました

3月6日(金)、1年生を対象とした美術科の出前授業「アニメーション講座」を実施しました。講師として、大手前大学教授の和田淳(わだあつし)先生をお招きしました。和田先生は、大阪教育大学および京都精華大学にもお勤めであり、ベネチア国際映画祭の短編部門で銀熊賞を受賞、オタワ国際映画祭でグランプリを受賞、さらに文化庁「令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣新人賞」を受賞されるなど、国際的な活躍をされています。アニメーションの制作や分野について知り、「美術」を仕事にすることや自分を表現することなどについて学びました。

生徒の皆さんの作品の発表、そして、それについての和田先生からのご講評をいただいたあと、アニメーションについての講演会・質問タイムなど、楽しい学びの時間となりました。



先生から生徒の作品についてご講評をいただきました



気づきをまとめています

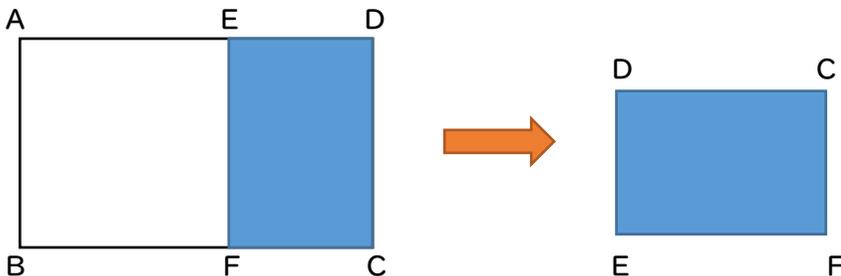
break time

黄金比と白銀比(シルバー比)

ギリシャ彫刻に見られる美しさの秘密のひとつは、5:8という比にあるといわれています。この比は「黄金比」として、レオナルド・ダヴィンチに名づけられました。

- ミロのヴィーナスは頭のとっぺんから腰のくびれまでが80.6cm、腰のくびれから足元までが130.6cmで、約5:8となっています。
- ギリシャのパルテノン神殿を正面から見たときのたて(高さ)と横の長さの比も、5:8
- フランスの凱旋門のデザインや、葛飾北斎の絵の構成の中にも、5:8の黄金比があります。

【黄金長方形】



上の図のように、長方形 ABCD から正方形 ABFE を切り取ったとき、残りの長方形 DEFC がもとの長方形 ABCD と同じ形になる(これを相似といいます。形が同じで、大きさが異なる)ような長方形を、黄金長方形といいます(なんかピカピカと輝いていそうですね!)。黄金長方形のたての長さ(AB)と横の長さ(AD)の比(AB:AD)を黄金比とよびます。これはおよそ、1:1.62。つまり、約5:8です。ということで、次回は白銀比についてのお話です。